

# 大分県立看護科学大学大学院看護学研究科健康科学専攻（博士課程前期）の学生募集停止について(報告)

令和5年10月31日

文 部 科 学 大 臣 殿

報告者の職名及び氏名 大分県立看護科学大学

学長 村嶋 幸代

このたび、大分県立看護科学大学大学院看護学研究科健康科学専攻（博士課程前期）の学生募集を停止することとしたので、下記のとおり報告します。

## 記

### 1 募集停止する学部、学科及び定員

	入学定員	収容定員
看護学研究科		
健康科学専攻博士課程前期	2人	4人

### 2 募集停止により入学する者がいなくなる最初の年度又は時期

令和6年度

### 3 募集停止する理由

本学の大学院である看護学研究科には看護学専攻（博士課程前期・博士課程後期）と健康科学専攻（博士課程前期・博士課程後期）があり、健康科学専攻では看護職以外の学生も受け入れて教育してきた。本学の大学院では幅広い専門家からの研究指導を受けられるようにするため、全教員でこの2専攻の大学院生の研究指導を行ってきた。しかし、令和4年度に大学教育質保証・評価センターで受審した大学機関別認証評価において、専攻ごとに指導教員を配置する必要があることが指摘された（大学院設置基準第9条）。この指摘に従って、研究指導教員を2専攻に分けると、募集定員の多い看護学専攻では研究指導教員が大幅に減少し、研究指導に支障が生じる。一方、健康科学専攻では教員数が少ないため、研究指導教員数と教授数、研究指導補助教員数の要件を満たすことが困難になる。これらに加えて、近年、

健康科学専攻では志願者のない年度もあり、特に博士課程後期では3年連続志願者0名である。近年、県内の他大学に本学の健康科学専攻と類似する大学院が設置され、今後、健康科学専攻の志願者の増加は期待できない。以上の点を勘案し、今後は大学院を看護学専攻に一本化し、全教員で研究指導を行うことで指導体制の充実を図りたい。

4 今後の取扱い

博士課程前期について、令和5年8月に実施した令和6年度入学試験でも志願者がいなかったため、2次募集では募集を止め、令和6年度より募集停止とする。なお、廃止するまでの間の在学生の教育条件は堅持する。

博士課程後期については、博士課程前期の在学生がいる間は、募集を継続する。

5 募集停止に係る決議等を行った年月日

理事会 令和5年 9月 20日

6 募集停止を開始する時期（一般に公表する時期）

令和5年 11月 1日